



MIYAKE



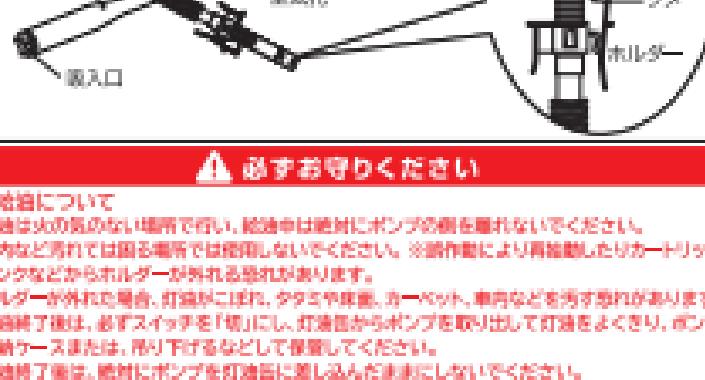
4 977977 819355

灯油ポンプ TP-L20

取扱説明書 確保保存

このたびは、灯油ポンプTP-L20をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただけ、正しくお使いください。
お読みになった場合は、いつでも読み直せるところに大切に保管してください。

(構造の仕組み)

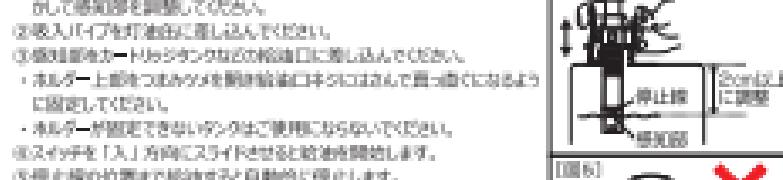


▲ 必ずお守りください

1. 絶対について

- 絶対は火の危い場所でない。絶対車は絶対にポンプの側を離れないでください。
 - 室内など汚れては困る場所では絶対しないでください。※動作により再燃點したりカートリッジタンクなどからホルダーが飛出する恐れがあります。
 - ホルダーが外れた場合、灯油がこぼれ、タクシーや車両、カーペット、車内などを汚す恐れがあります。
 - 絶対終了後は、必ずスイッチを「切」にして、灯油管からポンプを取り出して灯油をよくきり、ポンプ吸収ケースまたは、吊り下げるなどして保管してください。
 - 絶対終了後は、絶対にポンプを灯油皿に落し込んだままにしないでください。
 - 動作時に上り再燃點する恐れがあります。
 - このポンプは、防水構造ではありませんので雨など、水がかかるない場所でご使用(乾電池)及び保管をしてください。※動作により再燃點したり自動停止しないなど、故障の原因となります。
- #### 2. 絶対について
- 後再燃點原因を確認いただき、使用推奨範囲が十分ある新しいアルカリ乾電池をご使用ください。
 - マンガン乾電池及び二次電池(充電式電池)などご使用にならないでください。
 - 乾電池は炎温の高い場所ではパワードが低下し、使用できなくなることがあります。
 - 乾電池(5号未満)の状態でポンプに乾電池を入れたまま保管すると、乾電池の性能を充分に発揮できず駄目な場合があります。
 - 乾電池の保管は10℃~25℃が適切とされています。直射日光、高温多湿を避け保管してください。

図解1 乾電池の入れ方



- 乾電池の交換は、その他の細部を気にせずに次のことを守りください。**
1. 乾電池は必ず新しいものご使用ください。
 2. 乾電池を取り替える時は、一度に2本とも取り替えてください。
 3. 乾電池は2本とも同じ性能のものを使用してください。
 4. 長期間(2週間以上)使用しない時は、必ず乾電池を取り外してください。

図解2 操作方法について

①(図4)のように自動停止(オートストップ)位置を調整することができます。

- ・給油栓ゲート内の停止位置で停止すると給油を自動停止しますが、吐出ホース内に残った灯油がゲート内に流れ込みますのでタンクの残料によっては、過剰な恐れがあるため、その力を考慮しあるゲート上部をつまみながら上下に動かして給油量を調節してください。
- ②吸入パイプを灯油皿に落し込んでください。
- ③吸油部をカートリッジタンクなどの灯油口に落し込んでください。
- ・ホルダー上部をつまみタップを開閉操作後ヨコリコロさんで握り直してあるように固定してください。
- ・ホルダーが固定できないタンクはご使用にならないでください。
- ④スイッチを「入」方向にスライドさせると給油が開始します。
- ⑤停止線の位置まで絞り下すと自動的に停止します。
- ・途中で給油を停止する場合は、スイッチを「切」方向にスライドさせ、ポンプが停止していることを確認してください。
- ⑥絶対終了後は、必ず灯油皿よりポンプを取り出し保管してください。

●ご使用になる前に以下のことを必ず確認してください。

- ・吐出ホースに漏洩があるかないを確認してください。
- ・使用推奨範囲が足りてない、吐出ホースの破損や漏れが発生する場合や乾電池不足の、異常がある場合はご使用しないでください。
- ・スイッチが「切」位置にあることを確認してください。
- ・炎温の高い場所では絶対に絶対しないでください。
- ・吸油部を灯油口にセットする前にスイッチを「入」にしてポンプが作動し灯油が流れます。
- ・カートリッジタンク内が(図5)のような形状のものはご使用にならないでください。
- ・(図6)のようなバルスマストープなど燃料タンクが本体と一緒にになったもの及び(図7)のようだウタ部屋に床面やホルダーのあるものは使用しないでください。ホルダーがストップ位置で固定できず吐出ホースが外れ、漏れたり、自動停止センサーが正常に作動せず、すぐには停止したり自動停止しない場合があります。
- ・空運輸をしないでください。荷物の原因になります。
- ・直射日光があたる場所や強い暖房のあとで保管すると自動停止しない場合があります。

使用上のお願い

①給油は、必ず火の危い場所で行い、給油中は、ポンプの側を絶対に離れないでください。

②灯油が漏れた場合、火災や事故の原因となるです。

③吐出ホースや吸入パイプを灯油撒きの原因となります。灯油が撒かれた場合は、使用しないでください。

④ポンプを落すときは、強いため衝撃を与えないでください。衝撃や振動の原因になります。

⑤本体の空気孔を塞がないでください。サイフォン効果により自動停止せず漏れる原因となります。

⑥空気孔から少量の灯油ができることがあります、放棄ではありません。

⑦センサーが壊れたり、壊れたり異常が付いた場合、自動停止せざるを得る原因となります。

⑧このポンプは、熱湯槽では絶対使わないでください。炎温の高い場所にしてください。

⑨操作装置ごとの再燃點したら、自動停止しないでください。故障の原因になります。

⑩フィルター付きカートリッジタンクなどの機種によっては、ご使用になれないものがございます。

カートリッジタンクなどの灯油吸込口内径2.2mm以下のもの、灯油栓などの吸入・吸込口内径3.0mm以下のものはご使用になれないかもしれません。

⑪通常の使用にもかかわらず動作がならなかったり異常がある場合は、事故防止のため使用を中止し、乾電池を取り外してください。下記までご連絡ください。

- 自動停止せず漏れた場合、スイッチを「切」にして、灯油栓よりポンプを接続してください。
- このポンプは灯油専用です。ガソリン・シンナー・アルコールなどの揮発性の高い液体、既、AVLがなじむ食料の高い液体、水は絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- ポンプの分解や修理は絶対しないでください。故障や異常動作を起す原因となります。
- 必ず種類での灯油使用例に該当してください。
- 古い灯油は使用しないでください。

保管のしかた

①毎日使用される場合は、必ず灯油栓からポンプを取り出し、灯油をよくきり、水に濡れる恐れのある所直射日光の当たる所を避けて保管してください。直射日光槽では絶対使しないでください。

②ポンプは、上下逆さまに電池ケース部分を下向きにしてください。ポンプ内に残った灯油が漏れる恐れがあります。

③ポンプの保管はポンプ吸油カース部分は吊下げて保管してください。

【長期間使用しないとき】

④長期間(2週間以上)ご使用にならないときは、必ず乾電池を取り外しポンプに残った灯油をよくきり、布であれ、ビニール袋などに入れて、雨など水に濡れる恐れのある所、直射日光を避け、子供の手の届かない所で保管してください。

故障かな?と思ったとき

こんなときは	原因・調べるところ	直しかた
スイッチを入れても作動しない！	電池の入れ間違い	電池を正しく入れる
・暗い上げる力が弱い！ ・ポンプ(モーター)が作動しているのに暗い上げない！	・ポンプ吸油部を悪用している ・電源地の接続問題 ・GND端子がサビている ・給油栓ランクが漏れています ・そのほか一度スイッチを「切」にして、停止させ再度スイッチを「入」にしてください	- 使用推奨範囲が十分残っている新しいアルカリ乾電池に取り替える - 端子のサビを落とす
		灯油栓の締め度に適く

仕様	形 容	TP-L20
	使 用 材 質	車用アルカリ乾電池×2本
	重 量	1.8kg(乾電池×2本+カートリッジタンク+ポンプ+エアレンジ)
	ポンプ駆動方式	タイラバード・ドライブ方式
	電子回路電子	トランジスター
	セ ン サ	透反射式光センサー
	使 用 温 度	-5℃ ~ +45℃
	使 用 温 度	直射日光を避け

お客様がこの「取扱説明書」に記載されている内容を読みながらお読み頂いた事務品と確認、

その他の不具合について、直近は一朝の問題を含めんので手元に了承ください。

CCC認証を受ける場合へ

三宅化学株式会社 本社: 東京都墨田区向島二丁目4-11 受付時間 9:00~17:00(土日祝日除く)
TEL: 03-33-33-8454(代) FAX: 03-33-33-8455 http://www.jp-miyake.co.jp/

CCC

MADE IN CHINA